

都市計画マスタープランの一部改定に係る公聴会 意見陳述1

平成28年6月5日13:30～

8階大会議室

【樋橋地区土地区画整理準備組合 ●● ●●】

樋橋地区の現状につきましては、関係職員の皆様はすでにご存知であると認識しております。

佐久市は、高速道路や新幹線といった高速交通網の整備とともに大きく発展してきております。なかでも、長野冬季オリンピック開催にともない整備された、平成9年の新幹線佐久平駅開業に伴う周辺地域の発展は、全国的にも注目される開発がされ、現在でも各地からの視察が訪れていると伺っております。

土地利用率においても、100%に近い状況であり、いちじるしく都市化が進んでまいりました。

一方で、当樋橋地区は佐久平駅周辺としての整備された地区の南に位置する農振の水田が主体の地区であります。

佐久平駅周辺の都市化が進めば進むほど、圃場が広がる当地区内への車の侵入や、近年近津砂田線の急激な交通量の増大により、耕作に必要な大型機械、トラクターやコンバイン等の搬入や農作業にはこれまで以上に支障や危険度が増し、大変苦慮しております。

また、現在、既に隣接する国道・県道沿いでは建物が建ち並んでおり、このままだと空洞化が進み、ドーナツ現象になってしまいます。

このような状況のなか、当地区におきましては、地元地権者で構成する土地利用研究会を平成17年に発足し、以降研究、協議を重ねる中で、平成27年2月5日地元区長さんを始め、地権者全員の了解を得て、樋橋地区土地区画整理準備組合を立ち上げ、当地区の開発に向けて一層の検討を重ねてまいりました。

また、昨年2月の当準備組合の設立に関する新聞報道にともない、同年5月にイオンモール株式会社より樋橋地区におけるまちづくりに参画したいとの申し出があり、準備組合としても主たる土地利用者として決定し、区画整理事業のパートナーとしていく方針であります。

樋橋地区は、立地的には、将来、佐久市の中心的な場所であり、事業の進展が図られた後には、都市計画道路が計画されていることから、岩村田商店街との相乗効果と、交流人口、定住人口の増加そして雇用の促進に期待出来る事から、佐久市の人口減少に歯止めをかけることにも寄与できると思われれます。

このようなことから、本年2月には、柳田市長さん、小林議会議長さんに、関係4区の区長さんとの連名で、樋橋地区土地区画整理事業の推進に関わる陳情書を提出させて頂き、これが3月の定例議会において採

扱されたことから、大変心強く感じているところでございます。

地権者にとっては、高齢化が進む一方、近年米価の低迷により生産意欲が減少する中、地権者の財産である土地の減歩や、固定資産税の大幅増のリスクを負いながらも、地権者総会で全員の賛成を得て、一丸となって事業を推進していく所存であります。

つきましては、当地区の諸事情を御賢察の上、佐久市のまちづくりの基本方針である「佐久市都市計画マスタープラン」におきましても、樋橋地区の土地利用方針を具体的に位置づけることで、当地区区画整理事業の事業化が一日も早く進み、改定案にありますように「居住や商業等の多様な機能を有する新たな市街地が形成される」など、都市的な土地利用が図られますことを強く希望いたします。

結びにあたり、佐久市や関係機関等との連携を図り、岩村田地区はもとより、佐久地域全体が豊かで活力に満ちたまちづくりが実現出来るよう願いたします。

ご清聴ありがとうございました。